

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年1月14日設定）
運用方針	主としてA格相当以上の格付けを有する米国の国債、政府保証債および政府機関債に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。 運用にあたりましては、シティ米国債インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、ポートフォリオの加重平均デュレーションを2年以上8年以内とした運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ USボンド ファンド（毎月分配型）

愛称：夢満債（米ドルコース）

第162期（決算日：2016年8月9日）

第163期（決算日：2016年9月9日）

第164期（決算日：2016年10月11日）

第165期（決算日：2016年11月9日）

第166期（決算日：2016年12月9日）

第167期（決算日：2017年1月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ USボンドファンド（毎月分配型）」は、去る1月10日に第167期の決算を行いましたので、法令に基づいて第162期～第167期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			シティ米国債インデックス (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	期 騰 落	中 率	期 騰 落			
	円	円	円	%	円	%	%	%	百万円
138期(2014年8月11日)	8,961		15	1.3	78,931.55	1.3	95.1	—	525
139期(2014年9月9日)	9,271		15	3.6	81,865.25	3.7	95.2	—	545
140期(2014年10月9日)	9,562		15	3.3	84,338.48	3.0	96.3	—	561
141期(2014年11月10日)	10,100		15	5.8	89,224.28	5.8	97.1	—	576
142期(2014年12月9日)	10,710		15	6.2	94,669.39	6.1	96.9	—	581
143期(2015年1月9日)	10,766		15	0.7	95,039.41	0.4	92.4	—	580
144期(2015年2月9日)	10,691		15	△0.6	94,593.49	△0.5	95.7	—	568
145期(2015年3月9日)	10,657		15	△0.2	94,858.81	0.3	98.0	—	552
146期(2015年4月9日)	10,838		15	1.8	96,360.55	1.6	98.0	—	561
147期(2015年5月11日)	10,609		15	△2.0	94,735.72	△1.7	97.2	—	549
148期(2015年6月9日)	10,879		15	2.7	97,702.24	3.1	96.8	—	548
149期(2015年7月9日)	10,637		15	△2.1	95,688.12	△2.1	98.1	—	528
150期(2015年8月10日)	10,965		15	3.2	98,876.41	3.3	96.1	—	540
151期(2015年9月9日)	10,556		15	△3.6	95,403.79	△3.5	94.5	—	506
152期(2015年10月9日)	10,587		15	0.4	95,851.30	0.5	95.9	—	494
153期(2015年11月9日)	10,707		15	1.3	97,368.60	1.6	94.9	—	495
154期(2015年12月9日)	10,731		15	0.4	97,648.50	0.3	97.2	—	484
155期(2016年1月12日)	10,327		15	△3.6	94,068.73	△3.7	96.1	—	455
156期(2016年2月9日)	10,346		15	0.3	94,419.47	0.4	97.7	—	451
157期(2016年3月9日)	10,007		15	△3.1	91,505.07	△3.1	97.6	—	433
158期(2016年4月11日)	9,679		15	△3.1	88,774.86	△3.0	96.8	—	427
159期(2016年5月9日)	9,577		15	△0.9	88,052.23	△0.8	97.4	—	421
160期(2016年6月9日)	9,545		15	△0.2	87,880.95	△0.2	98.0	—	417
161期(2016年7月11日)	9,210		15	△3.4	84,842.59	△3.5	96.9	—	399
162期(2016年8月9日)	9,218		15	0.2	85,277.28	0.5	97.6	—	401
163期(2016年9月9日)	9,159		15	△0.5	85,025.79	△0.3	96.6	—	397
164期(2016年10月11日)	9,226		15	0.9	85,911.33	1.0	96.3	—	398
165期(2016年11月9日)	8,995		15	△2.3	84,066.23	△2.1	96.6	—	387
166期(2016年12月9日)	9,730		15	8.3	91,534.20	8.9	97.5	—	411
167期(2017年1月10日)	9,902		15	1.9	93,288.25	1.9	97.0	—	408

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) シティ米国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、米国の国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。シティ米国債インデックス（円換算ベース）とは、シティ米国債インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		シティ米国債インデックス		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		円	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率		
第162期	(期 首) 2016年7月11日	9,210	—	84,842.59	—	96.9	—
	7月末	9,455	2.7	87,254.74	2.8	96.3	—
	(期 末) 2016年8月9日	9,233	0.2	85,277.28	0.5	97.6	—
第163期	(期 首) 2016年8月9日	9,218	—	85,277.28	—	97.6	—
	8月末	9,292	0.8	86,004.86	0.9	96.8	—
	(期 末) 2016年9月9日	9,174	△0.5	85,025.79	△0.3	96.6	—
第164期	(期 首) 2016年9月9日	9,159	—	85,025.79	—	96.6	—
	9月末	9,098	△0.7	84,447.15	△0.7	96.5	—
	(期 末) 2016年10月11日	9,241	0.9	85,911.33	1.0	96.3	—
第165期	(期 首) 2016年10月11日	9,226	—	85,911.33	—	96.3	—
	10月末	9,245	0.2	86,250.14	0.4	96.5	—
	(期 末) 2016年11月9日	9,010	△2.3	84,066.23	△2.1	96.6	—
第166期	(期 首) 2016年11月9日	8,995	—	84,066.23	—	96.6	—
	11月末	9,640	7.2	90,441.61	7.6	96.2	—
	(期 末) 2016年12月9日	9,745	8.3	91,534.20	8.9	97.5	—
第167期	(期 首) 2016年12月9日	9,730	—	91,534.20	—	97.5	—
	12月末	9,896	1.7	93,123.54	1.7	96.1	—
	(期 末) 2017年1月10日	9,917	1.9	93,288.25	1.9	97.0	—

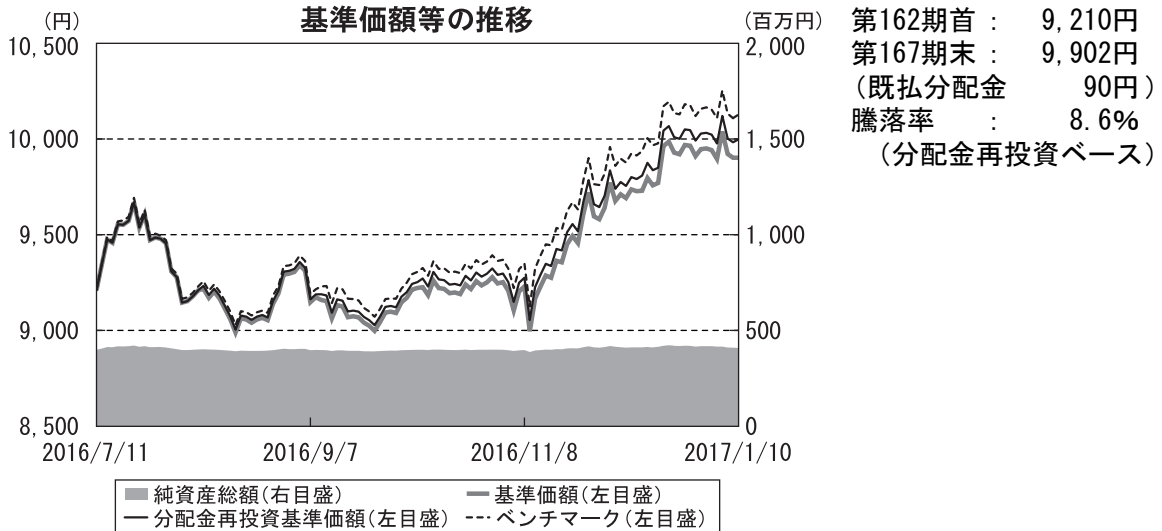
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第162期～第167期：2016/7/12～2017/1/10）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ8.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（10.0%）を1.4%下回りました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

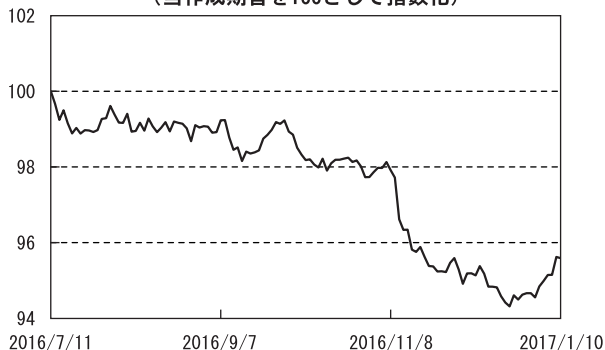
基準価額の主な変動要因

上昇要因	米ドルが円に対して上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	米国長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第162期～第167期：2016/7/12～2017/1/10）

債券市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



— シティ米国債インデックス(ドルベース)

為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



— 為替レート(円・ドル)

◎債券市況

・作成期首から2016年10月末にかけては、米国の早期追加利上げ観測の高まりなどを背景に、長期金利は上昇基調で推移しました。その後、11月の米大統領選の結果を受けた財政政策に対する期待の高まりや12月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）において利上げが実施され、今後の政策金利見通しが引き上げられたことなどを背景に、長期金利は一段と上昇しました。

◎為替市況

・円・ドル相場は上昇しました。作成期首から2016年11月上旬にかけては米ドルは円に対してもみ合いで推移しましたが、その後、米国の2016年内の追加利上げ観測の高まりや大統領選の結果を受けて米国金利が上昇し日米の金利差が拡大したことなどから米ドルは円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・ 当作成期を通じて、債券現物の高位組み入れを維持しました。

◎デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

- ・ 当作成期初においては、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る国民投票の結果を受けて景気の先行きの不透明感が高まると判断し、デュレーションはベンチマーク比長めとし、2016年11月中旬まで長めの範囲で調整しました。その後、大統領選の結果を受けた財政政策に対する期待の高まりなどから、長期金利は上昇しやすい展開を想定し、ベンチマーク比中立に変更しました。

◎種別構成

- ・ 当作成期は、米国国債のみの組み入れとしました。
- ・ 当作成期は、米国長期金利が上昇したことなどがマイナス要因となりましたが、米ドルが円に対して上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2016年7月11日）

最終利回り	1.1%
直接利回り	2.5%
デュレーション	6.8年

作成期末（2017年1月10日）

最終利回り	1.7%
直接利回り	1.9%
デュレーション	6.0年



- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2016年7月11日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	96.9%	6
A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末（2017年1月10日）

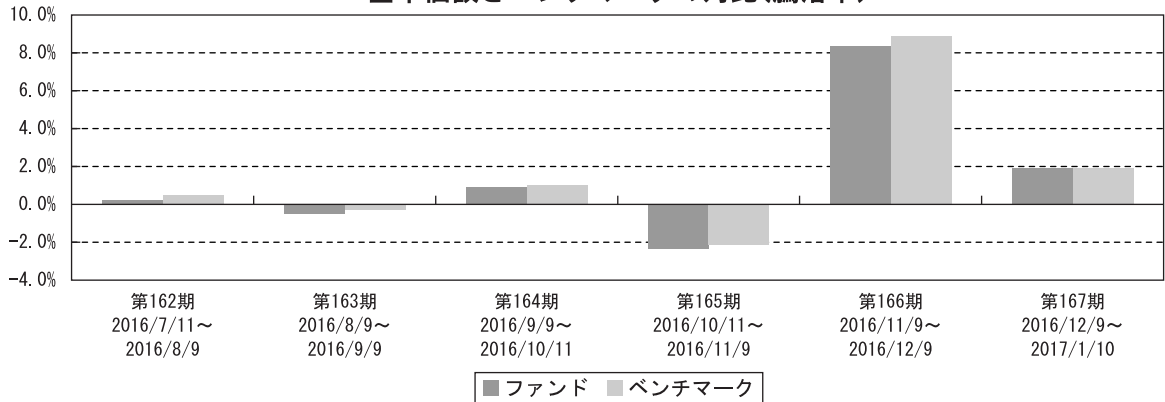
格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	97.0%	7
A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第162期～第167期：2016/7/12～2017/1/10）

基準価額とベンチマークの対比(騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・ 当作成期の基準価額騰落率は、分配金再投資ベースで8.6%の上昇となり、ベンチマークであるシティ米国債インデックス（円換算ベース）の10.0%の上昇を1.4%下回りました。
その主な要因は次の通りです。

（マイナス要因）

- ・ 2016年10月以降の金利上昇局面においてデュレーションをベンチマーク比長めとしていたことや信託報酬等コストがマイナス要因となりました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2016年7月12日～ 2016年8月9日	2016年8月10日～ 2016年9月9日	2016年9月10日～ 2016年10月11日	2016年10月12日～ 2016年11月9日	2016年11月10日～ 2016年12月9日	2016年12月10日～ 2017年1月10日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
（対基準価額比率）	0.162%	0.164%	0.162%	0.166%	0.154%	0.151%
当期の収益	13	10	15	5	15	15
当期の収益以外	1	4	—	9	—	—
翌期繰越分配対象額	2,300	2,296	2,296	2,287	2,288	2,290

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・米国長期金利は、もみ合う展開が想定されます。米ドル上昇に伴いインフレ動向が落ち着いていることが金利低下要因となるものの、トランプ新政権が公約している財政出動や減税に対する期待などが金利上昇要因となり、長期金利は当面もみ合う展開を想定します。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

（デュレーション）

- ・デュレーションは当面ベンチマーク比中立を基本に、環境変化に柔軟に対処しながらコントロールする方針です。

（種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向などを注視し、対応する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年7月12日～2017年1月10日)

項 目	第162期～第167期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(20)	(0.215)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.323)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.023	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	55	0.588	
作成期中の平均基準価額は、9,437円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年7月12日～2017年1月10日)

公 社 債

			第162期～第167期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 2,098	千アメリカドル 2,281

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月12日～2017年1月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	第162期～第167期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2	百万円 2	% 100.0	百万円 30	百万円 24	% 80.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年1月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第167期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 3,404	千アメリカドル 3,412	千円 395,707	% 97.0	% —	% 41.1	% 28.3	% 27.6
合 計	3,404	3,412	395,707	97.0	—	41.1	28.3	27.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第167期末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
国債証券	0.5 T-NOTE 170430	970	969	112,468	2017/4/30	
	1.5 T-NOTE 260815	160	148	17,163	2026/8/15	
	2 T-NOTE 220215	180	180	20,955	2022/2/15	
	2.125 T-NOTE 210815	490	495	57,477	2021/8/15	
	2.5 T-NOTE 240515	480	489	56,752	2024/5/15	
	2.75 T-BOND 421115	654	629	72,976	2042/11/15	
	3.5 T-NOTE 200515	470	499	57,913	2020/5/15	
合 計				395,707		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年1月10日現在)

項 目	第167期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 395,707	% 96.4
コール・ローン等、その他	14,916	3.6
投資信託財産総額	410,623	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（406,935千円）の投資信託財産総額（410,623千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=115.96円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
	2016年8月9日現在	2016年9月9日現在	2016年10月11日現在	2016年11月9日現在	2016年12月9日現在	2017年1月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	402,486,539	497,306,877	404,121,401	388,438,218	412,631,352	412,937,867
コール・ローン等	7,651,640	9,866,527	12,366,562	10,728,910	10,180,189	12,957,320
公社債(評価額)	391,769,125	383,870,029	384,340,161	374,408,168	401,190,442	395,707,226
未収入金	—	100,469,804	4,445,488	—	—	2,314,150
未収利息	2,112,369	2,483,217	2,188,742	2,638,249	974,542	1,623,166
前払費用	835,886	473,093	608,828	463,268	60,894	83,298
その他未収収益	117,519	144,207	171,620	199,623	225,285	252,707
(B) 負債	1,023,976	100,129,883	5,208,459	1,006,059	1,337,196	4,880,857
未払金	—	99,094,937	4,156,701	—	—	2,319,000
未払収益分配金	653,247	650,438	648,551	646,091	634,029	618,133
未払解約金	—	—	9,213	—	322,101	1,528,762
未払信託報酬	369,257	382,985	392,432	358,541	379,553	413,313
未払利息	4	4	2	3	5	4
その他未払費用	1,468	1,519	1,560	1,424	1,508	1,645
(C) 純資産総額(A-B)	401,462,563	397,176,994	398,912,942	387,432,159	411,294,156	408,057,010
元本	435,498,562	433,625,376	432,367,808	430,727,622	422,686,326	412,088,938
次期繰越損益金	△ 34,035,999	△ 36,448,382	△ 33,454,866	△ 43,295,463	△ 11,392,170	△ 4,031,928
(D) 受益権総口数	435,498,562口	433,625,376口	432,367,808口	430,727,622口	422,686,326口	412,088,938口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,218円	9,159円	9,226円	8,995円	9,730円	9,902円

○損益の状況

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2016年7月12日～ 2016年8月9日	2016年8月10日～ 2016年9月9日	2016年9月10日～ 2016年10月11日	2016年10月12日～ 2016年11月9日	2016年11月10日～ 2016年12月9日	2016年12月10日～ 2017年1月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	826,227	870,917	724,318	622,727	678,350	732,572
受取利息	799,319	848,632	698,329	597,903	661,757	716,019
その他収益金	26,992	22,361	26,068	24,913	16,661	16,638
支払利息	△ 84	△ 76	△ 79	△ 89	△ 68	△ 85
(B) 有価証券売買損益	548,270	△ 2,381,270	3,215,539	△ 9,583,567	31,388,206	7,361,561
売買益	6,177,186	21,409	6,639,840	12,539	44,758,232	7,785,677
売買損	△ 5,628,916	△ 2,402,679	△ 3,424,301	△ 9,596,106	△ 13,370,026	△ 424,116
(C) 信託報酬等	△ 396,070	△ 400,258	△ 402,007	△ 369,549	△ 395,493	△ 428,026
(D) 当期損益金(A+B+C)	978,427	△ 1,910,611	3,537,850	△ 9,330,389	31,671,063	7,666,107
(E) 前期繰越損益金	△ 4,799,212	△ 4,422,210	△ 6,957,660	△ 4,015,397	△ 13,685,977	16,885,003
(F) 追加信託差損益金	△ 29,561,967	△ 29,465,123	△ 29,386,505	△ 29,303,586	△ 28,743,227	△ 27,964,905
(配当等相当額)	(30,632,445)	(30,947,482)	(30,897,377)	(31,337,262)	(30,941,512)	(30,318,557)
(売買損益相当額)	(△60,194,412)	(△60,412,605)	(△60,283,882)	(△60,640,848)	(△59,684,739)	(△58,283,462)
(G) 計(D+E+F)	△ 33,382,752	△ 35,797,944	△ 32,806,315	△ 42,649,372	△ 10,758,141	△ 3,413,795
(H) 収益分配金	△ 653,247	△ 650,438	△ 648,551	△ 646,091	△ 634,029	△ 618,133
次期繰越損益金(G+H)	△ 34,035,999	△ 36,448,382	△ 33,454,866	△ 43,295,463	△ 11,392,170	△ 4,031,928
追加信託差損益金	△ 29,561,967	△ 29,465,123	△ 29,386,505	△ 29,303,586	△ 28,743,227	△ 27,964,905
(配当等相当額)	(30,632,445)	(30,947,482)	(30,897,377)	(31,337,262)	(30,941,512)	(30,318,557)
(売買損益相当額)	(△60,194,412)	(△60,412,605)	(△60,283,882)	(△60,640,848)	(△59,684,739)	(△58,283,462)
分配準備積立金	69,534,176	68,615,627	68,380,272	67,177,839	65,776,516	64,060,248
繰越損益金	△ 74,008,208	△ 75,598,886	△ 72,448,633	△ 81,169,716	△ 48,425,459	△ 40,127,271

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首（前作成期末）元本額 433,391,184円

 作成期中追加設定元本額 12,921,956円

 作成期中一部解約元本額 34,224,202円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9902円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,031,928円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2016年7月12日～ 2016年8月9日	2016年8月10日～ 2016年9月9日	2016年9月10日～ 2016年10月11日	2016年10月12日～ 2016年11月9日	2016年11月10日～ 2016年12月9日	2016年12月10日～ 2017年1月10日
費用控除後の配当等収益額	588,149円	470,659円	650,429円	253,178円	669,966円	693,836円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	30,632,445円	30,947,482円	30,897,377円	31,337,262円	30,941,512円	30,318,557円
分配準備積立金額	69,599,274円	68,795,406円	68,378,394円	67,570,752円	65,740,579円	63,984,545円
当ファンドの分配対象収益額	100,819,868円	100,213,547円	99,926,200円	99,161,192円	97,352,057円	94,996,938円
1万口当たり収益分配対象額	2,315円	2,311円	2,311円	2,302円	2,303円	2,305円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	653,247円	650,438円	648,551円	646,091円	634,029円	618,133円

○分配金のお知らせ

	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年10月8日)
- ②スイッチング対象ファンドである「三菱UFJ ユーロボンドファンド（毎月分配型）」の削除を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年12月15日)
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。